

# 市民活動 ニュース

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION NEWS

1999年

11月号

平成11年10月25日発行

発行◆514-0004 津市栄町1丁目954県民サービスセンター4階 三重県市民活動センター  
Tel.059-224-2644 Fax.059-224-2072 E-mail open@mienpo.net  
県NPO室ホームページ◆<http://www.mienpo.net/>

## 【NPO室から】

**今回成立した1団体を含め、NPO法人は12団体になりました。**

今回、特定非営利活動法人(NPO法人)として成立した1団体と申請中の2団体を紹介します。NPO室では、法人申請の相談も受け付けています。書類の書き方、申請方法のわからない方、お気軽にご相談ください。

**99年度三重県市民活動塾を開講します。**

申込締切は10月末日です。興味のある方はお急ぎください。また、11月20日に公開講座も行います。こちらは入塾申込不要です。ぜひ、ご参加を。

**市民活動情報を発信するNAVISホームページができました。**

県内270余りの団体情報を掲載しています。どうぞ、ご覧ください。

## 県内の市民活動 イベントのスケジュール

11月～12月に三重県内各地で開催される市民活動のイベントを事前にお知らせします。

### ネットワークのよびかけ

今月は2件あります。一つはあなたの町の「子育てサークル」「子育て支援サークル」の活動状況をまとめた冊子づくりへの協力、もう一つは「Y2K市民ネット三重」の定期学習会のお知らせです。

### 助成金情報

市民活動を資金面からサポートする助成金情報です。活動内容に合わせて生かしてください。今月号は3件の情報を掲載しています。

### フリーマーケット情報

楽しみながら資金集めができ、リサイクルにも役立つフリーマーケット。今月は3つのグループが開催するフリーマーケットを紹介します。

### NPOリレーインタビュー

「燈籠祭実行委員会」副実行委員長 **樋口泰生**さん

ひぐちやすお  
樋口泰生さん

「市民活動という意識はまったくありませんでした」とインタビューで語ってくれた樋口さん。けれど、樋口さんが副実行委員長として参加している燈籠祭実行委員会の活動はまさに市民活動そのもの。そこでつくられる人材やノウハウの蓄積は市民活動の財産といえるでしょう。

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。

# みなさんへのおしらせ

## 【NPO室より】

今回は特定非営利活動法人(NPO法人)1団体成立、申請が2団体ありました。引き続き、認証申請を受け付けています。

申請のあった2団体と成立した法人1団体を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部生活課NPO室及び各県民局生活環境部に備え置いてあります。

### ●認証申請団体

【26】

- ・特定非営利活動法人の名称 特定非営利活動法人テテ
- ・申請年月日 平成11年9月28日
- ・代表者の氏名 松永泰典
- ・法人の事務所の所在地 鈴鹿市南若松町3600番地の3
- ・縦覧期間 平成11年11月28日まで
- ・認証の種類 設立
- ・定款に記載された目的 この法人は、病気や障害等で日常生活が困難な人々の自由を守り、助け合うとともに、介護支援に関する事業を行い、もって地域福祉の増進に寄与することを目的とする。

【27】

- ・特定非営利活動法人の名称 特定非営利活動法人三重県アマチュア軽音楽協会
- ・申請年月日 平成11年10月7日
- ・代表者の氏名 赤井 薫
- ・法人の事務所の所在地 安芸郡河芸町大字上野1168番地の168
- ・縦覧期間 平成11年12月7日まで
- ・認証の種類 設立
- ・定款に記載された目的 この法人は、音楽を通じての青少年健全育成・生涯学習教育の向上を基本に、各地区において軽音楽の知識・技術を広く一般に普及し、誰もが世代を越えて参加でき、音楽に親しみながら地域に密着した事業を行い、社会全体の活性化に寄与することを目的とする。

(平成11年9月16日～平成11年10月14日申請分)

### ●成立した特定非営利活動法人

【12】

- ・特定非営利活動法人の名称 特定非営利活動法人おもいやり介護の会つくしんぼ
- ・認証年月日 平成11年9月1日
- ・代表者の氏名 島崎春江
- ・法人の事務所の所在地 津市片田志袋町300番地の117
- ・定款に記載された目的 この法人は、介護福祉ニーズを有するすべての人々が、住みなれた地域や居宅で安らぎと心豊かな暮らしが確保され継続できるよう、必要なサービス活動を行うとともに、人に優しい地域支援の創造に努め、共生社会における福祉の増進に寄与することを目的とする。
- ・登記年月日 平成11年9月16日  
(平成11年10月15日現在)

## 三重県市民活動塾開講～三重県との協働事業～

昨年度、三重県が実施した市民活動塾の卒業生たちが、今度は自分たちが中心になって塾をやろうと三重県市民活動塾実行委員会をつくり、三重県NPO室との協働事業として、市民活動塾を行います。「市民活動塾とは、市民活動の推進・運営、そして新たな活動のための学びの場です」を合い言葉に、三重県市民活動センターを舞台として6日間の塾を企画しました。みなさんのご参加をお待ちしております。

●開講日程／11月20日、27日、12月11日、1月8～9日、22日

●ところ／三重県市民活動センター(津市栄町1-954三重県民サービスセンター4階)

●受講料／12000円(6日間・1泊2日の宿泊研修含む)

●定員／30人(応募多数の際は選考の上、11月10日までにお知らせします)

●申込締切／10月末日

●申込方法／規定の入塾申込書にレポートを添えて、郵送、FaxまたはE-mailで下記まで。レポートテーマ「市民活動塾で学んだら…したいね!」(600字程度)

### 三重県市民活動塾公開講座

開講式に合わせて、講演会と鼎談を行います。これは入塾申込みは不要ですので、多数のご参加をお待ちしています。

【講演】「自立と協働の社会づくりに向けて～市民活動団体の経営戦略～」  
講演者:早瀬昇(大阪ボランティア協会事務局長)

【鼎談】「三重の拓かれた市民社会をめざして～協働の世紀の幕開け～」  
コーディネーター:早瀬昇さん

パネリスト:上田紘士さん(三重県副知事)、松浦さと子さん(摂南大学経営情報学部専任講師)、長友隆司さん(鈴鹿富士ゼロックス(株))

●とき／11月20日(土)PM1:00～PM5:00

●ところ／三重県庁講堂(津市広明町13)

●参加費／無料

●申込・問い合わせ先／(三重県市民活動塾及び公開講座)三重県生活課NPO室 514-0004三重県津市栄町1-954三重県民サービスセンター4階三重県NPO室 Tel.059-224-2644 Fax.059-224-2072 E-mail open@mienpo.net

## NAVISホームページ&三重県市民活動団体情報公開!!

NAVIS(NPOand Volunteer Information System)とは、市民活動(ボランティア)の情報ネットワークシステムです。

これは、県民全体の市民活動に対する関心の向上を図り、市民活動全体の活性化を目指すことを目的とし、県内市民活動に関する情報の交換・発信、市民活動団体の活動情報やボランティア情報などの提供を、インターネットを使って行っていきます。

そのためNAVISのホームページを新たに開設しました。

<http://www.mienpo.net/>

ぜひご覧いただくとともに、どんどん利用してください。

情報発信として、まず、三重県内の270余りの市民活動団体情報をホームページ上で公開するとともに、「三重県市民活動団体ダイレクトリ」(団体名簿)もできました。50音別、地域別、活動分野別で検索でき、とても便利です。今後も定期的に改訂して、充実していきたいと思えます。

… … …

「自分たちの団体をホームページに掲載してほしい」という方は、ご連絡ください。また、市民活動やボランティアに関する情報もお寄せください。

●問い合わせ先／三重県市民活動センター・三重県生活課NPO室  
Tel.059-224-2644 Fax.059-224-2072  
E-mail open@mienpo.net

… … …

この運営はNPO法人(特定非営利活動法人)アスクスネットワークを中心とした市民ボランティアで運営しています。現在企画・運営の有償スタッフを募集しています。インターネットを利用した市民活動支援の企画・運営やデータ入力・ホームページ作成などを行っていただく予定ですのでみなさんのご協力をお願いします

●問い合わせ先／特定非営利活動法人アスクスネットワーク(事務局担当 伊藤) Tel.0593-50-0670 E-mail info@asks.net

11月～12月に開催される

## 市民活動に関する 講演会やイベントです

### 写真パネル展示会「この子達を救いたい」

- とき／11月3日(水) AM10:30～PM5:00
- ところ／伊勢シティプラザ1階
- 内容／昨年も開催し、大変大きな反響を得ました動物救済の写真パネル展を今年は新たなパネル数十点を加え行います。流行とともに捨てられていくペット、意味なく続けられる動物実験など、普段私たちが目にする事ができない実態をパネルにて訴えます。また、昨年の一連のボランティア活動の様子を描き、命の尊さを説いた著書『この子達を救いたい』を自費出版した会の代表、浜井千恵さんのミニ講演会も予定しています。会場では関連書籍の販売なども行います。売り上げの一部は助けを必要としている動物たちのために使われます。
- 問い合わせ先／動物の命を救う会(御園治療院内) Tel.0596-22-7481 Fax.0596-25-5067

### 第17回あしながPウォーク10

- 内容／あしながPウォーク10は「病気・災害遺児」の窮状を訴え、病気・災害遺児の進学資金を募るとともに、日本における「ボランティア社会」「フィランソピー(やさしい人間愛)社会」づくりの啓蒙と実践を目的に行われる企画です。楽しくコースを歩き、ゲームなどを行うことで地域の歴史、文化に親しみ、そのよさを再発見してください。今回は南勢、津、四日市の3カ所で行われ、いずれも雨天決行です。
- 【三重県南勢地区】
- とき／11月7日(日) 集合AM9:30 AM10:00～PM2:00
- ところ／勢和村ゆとりの丘集合
- 【三重県津地区】
- とき／11月14日(日) 集合AM9:30 AM10:00～PM2:00
- ところ／お城西公園(津市役所北側)噴水前集合
- 【三重県四日市地区】
- とき／11月14日(日) 集合AM9:30 AM10:00～PM2:00
- ところ／三岐鉄道平津駅前集合
- 参加費／全コース500円(保険料、資料作成費)
- 問い合わせ先(全コース共)／あしながPウォーク10実行委員会 三重県担当 真弓恒 Tel.059-227-4683
- あしながボランティア三重県社会人代表 山田貴久 Tel.044-798-4162

### 親子で楽しむ自然探求

- とき／11月13日(土) AM10:00～(雨天決行)
- ところ／嬉野図書館の南側入口から出発して野外へ
- 参加費／無料
- 内容／「自然の営みの仕組みを知ること」から、現在起こっている様々な社会的弊害が解決できることを願って、フィールドへ。そこには驚きと楽しさ、面白さがいっぱいです。
- 申込方法／参加者の制限はありません。毎月第2土曜日開催で申込は不要です。
- 問い合わせ先／NACS-J(財)日本自然保護協会 自然観察指導員 脇葉進 Tel.05984-2-5523

嬉野図書館 Tel.05984-8-1800

●協賛／嬉野図書館

ダンボールで怪じゅうの街をつくってみよう  
公園であそぼ……幼児向き



- とき／11月13日(土) AM10:00～正午
- ところ／津観音公園
- 参加費／未定
- 内容／塾やおけいこ事の時間が増えたことや、自由に遊べる場所が減ってきたことなどから、今の子どもたちは外遊びの時間が減ってきています。その結果、子どもたちのコミュニケーション不足や、筋力やバランス感覚の低下が問題になってきています。津子どもNPOセンターではたくさんの仲間が集まる遊び場として地域の公園を利用し、子どもたちが思いっきり心と身体を動かせるよう「公園であそぼ」という企画を始めました。今回はダンボールで怪じゅうの街をつくり、道、ビル、おうち、車など好きなものをつくって遊びましょう。
- 持ち物／ダンボール、ガムテープ、カッターナイフ、ボンド、マジック、ひも(ビニールひもなど)
- 申込・問い合わせ先／津市島崎町132-40 津子どもNPOセンター Tel.059-225-1404

いっしょにやりませんか。

### 緑のネットワーク運動交流会

- 『緑のネットワーク運動地域交流フォーラム』
- とき／11月20日(土) PM1:00～PM5:00
- ところ／津市青少年野外活動センター(津市大字神戸)
- 内容／津地域および県内で、里山づくりや緑と水保全の活動をしている市民団体や個人の方を対象にしています。なお、このフォーラムとワークショップは市民団体の主催する「まちづくりコレクション'99」と一体になって開催します。当日は基調講演の後、県内各地で活動するグループによるフォーラム。その後会場を移してPM6:30～8:30まで交流会を行います。
- 【基調講演】
- 「里山ってどんな山。なぜ、里山で遊ぶの？」  
神奈川県森林研究所 中川重年さん
- 「里山の自然、子どもたち、そしてバリアフリー」  
自然観察指導員・愛知県環境保全推進委員 篠田陽作さん
- 「里山昔ばなし」津歴史探訪会会長 鈴木林さん
- 『緑のネットワーク運動地域交流ワークショップ』
- とき／11月21日(日) AM9:00～PM1:30
- ところ／津市青少年野外活動センター(津市大字神戸)
- 内容／全国の里山活動を実践しているグループの参加者といっしょに「里山の遊び」を体験し、交流を深めます。神奈川県森林研究所の中川重年さんを中心に篠田陽作さんも参加して森での遊び方のいろいろを教えてもらったり、里山の雑木や枯れ葉を燃料に手作り釜でのピザづくりをする里山レストランなどを体験をする予定です。
- 会費／交流フォーラムと交流会、ワークショップ合わせて1,000円(遠方からの参加者には宿泊費の補助もあります。お問い合わせを)
- 締切／11月12日(金)
- 申込・問い合わせ先／いずれも、514-8611 津市西丸之内23-1 津市市民交流課「緑のネットワーク運動地域交流会」 Tel.059-229-3146 Fax.059-227-8070
- 510-0304 河芸町大字上野3258番地 (財)三重県環境保全事業団内 緑のNPO活動支援センター「緑のネットワーク運動地域交

## 【テーマは「身近な自然の再発見」】

### まちづくりコレクション'99のメイン事業開催!

- とき/11月23日(祝) AM10:00~PM4:00ころ
- ところ/津市青少年野外活動センター並びに周辺の里山
- 内容/地域に残っている豊かな自然を知ってもらうためのイベントです。津市青少年野外活動センターを主会場に、各参加市民活動団体の活動発表や里山の雑木や枯れ葉を燃料に手づくり釜でのピザづくりや焼イモ大会の他、キノコ汁を味わっていただくコーナーもあります。また野外活動センター周辺の里山では、自然観察会、樹木ウォッチング、里山コンサートなどが開催される盛りだくさんの一日です。野外活動センターと里山内に車イスでも利用できる仮設トイレを設置します。また「緑のネットワーク運動交流会」と連携し同じ会場で連続的に開催します。11月22日の夜には、里山観月会も予定。
- 持ち物/使い捨ての食器を少しでも少なくするため、各自汁物用の食器、箸、ゴミ袋を持参してください。場所によってはドロドロのところもあるのでそれに対応できる靴。FMラジオ(当日、場内放送に代わってミニFM放送局を開設します)
- 問い合わせ先/津市東丸の内29番6号 川村暁洋(事務局担当) Tel.059-227-5555 Fax.059-227-3250
- 主催/まちづくりコレクション'99実行委員会(津市を中心に活動する多くの市民団体のネットワークです)

## 小さなま心広場建設基金 「MINEHAHA」

- とき/11月23日(祝) 開場PM2:00 開演PM2:30~PM4:30
- ところ/ミキモトホール伊勢(伊勢市黒瀬町1425番地 Tel.0596-22-4145(代))
- 入場料/3000円(前売券のみ)
- 内容/ミネハハとはスタジオミュージシャンとして、またバックイングコーラスとして20年ものキャリアを積んだ松本美音さんのこと。伊勢でのコンサートは今回で3度目になります。世の中の早い流れに何らかのストレスを感じているあなた、ミネハハのステージで今一度、自分自身に出会ってみてください。
- 申込・問い合わせ先/朝日「小さなま心運動」推進本部 Tel.0593-54-4937 Fax.0593-54-5696
- 伊勢支部(角谷行洋) Tel.&Fax.0596-37-0220 Tel.(携帯)090-8866-8173
- 松阪支部(坂井啓子) Tel.&Fax.0598-22-0313 Tel.(携帯)090-4798-1971
- 主催/朝日「小さなま心運動」推進本部、伊勢支部、松阪支部
- 後援/朝日「小さなま心運動」四日市支部、津支部、鈴鹿支部、刈谷支部、員弁支部、四日市木鶏クラブ

## もみじ祭り

- とき/11月23日(火)~12月5日(日)
- ところ/四日市市水沢町宮妻地内 もみじ谷
- 内容/樹齢100年を越えるもみじの古木の保存と、歴史的に由緒あるもみじ谷の保全、素晴らしい景観の維持を目的に、もみじ祭りを開催します。水沢地区の催事として定着することを願うとともに、四日市の観光地奥座敷として、もみじ谷の保存に努めたいと考えてい

ます。期間中は毎晩(PM6:00~PM9:00)、もみじ谷をライトアップするほか、土日には模擬店も予定しています。

●問い合わせ先/きららの里(鎌田泰裕) Tel.0593-29-2510 Fax.0593-29-3080

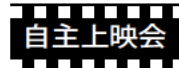
●主催/水沢地区連合自治会、水沢地区地域社会づくり、宮妻町自治会



地球の声が聞こえますか…

## 「地球交響曲ガイヤシフォニー第一番」

- とき/11月28日(日) 開場PM1:30 開演PM2:00
- ところ/紀勢町コンベンションホール(国道42号線 山海の里隣 JR柏崎駅が最寄りです)
- 上映協力券/高校生以上900円、小中学生無料
- 内容/現代の常識を越えたことを成し遂げた、あるいは体験した6人のオムニバス映画。彼らのメッセージは地球の未来にとって指針的なものであると同時に、人々を癒し元気づけてくれます。
- 主催・問い合わせ先/ねぎぼうずの会(PM8:00以降の問い合わせはご遠慮ください) 吉田 Tel.05988-2-3332 森田 Tel.05988-6-3438
- 後援/紀勢町、大内山村、大宮町教育委員会



## ガイアシフォニー 地球交響曲第三番

- とき/12月2日(木) 開場PM6:00 開演PM6:30
- ところ/伊勢市生涯学習センター「いせトピア」(伊勢市黒瀬町562番地12 Tel.0596-21-0900)
- 会費/前売1000円、当日1200円
- 内容/草の根的な自主上映会が全国で行われるなど、熱烈なファンを多く持つ映画「地球交響曲」。今回上映する第三番では自然を撮り続けたカメラマン、星野道夫さんの足跡を追います。
- 問い合わせ先/事務局(正直人) Tel.0596-23-9855 喜多や Tel.0596-28-3064 竹炭伍平 Tel.0598-28-2423
- 主催/いせ地球村

## (野上ふさ子氏講演会~命の犠牲を考える~)

- とき/12月5日PM1:30~PM4:30
- ところ/伊勢市生涯学習センター「いせトピア」
- 資料代/500円
- 内容/動物実験廃止・全国ネットワーク(AVA・NET)と環境保護を問ひかける市民団体、地球生物会議(ALIVE)代表の野上ふさ子さんを東京よりお招きして講演会を行います。1.6秒に1匹の命の犠牲を強いる、私たちの今の生活を再考する機会にしませんか?!
- 募集人数/126人
- 申込方法/要予約。下記まで連絡を。
- 問い合わせ先/動物の命を救う会(御園治療院内) Tel.0596-22-7481 Fax.0596-25-5067

## 演劇駅伝~舞台でつなぐこころの櫛

- とき/12月12日(日)、19日(日) 開場正午 開演PM12:30
- ところ/多気町民文化会館
- 入場料/無料(入場整理券が必要)
- 内容/地域住民の手によって、地域づくりの大きな渦をつくりだす

ことと、演劇文化による地域づくりの発信を目的に、地域の住民と行政との協働で企画されたみえ県民文化祭圏域別フェスティバル。地域の演劇グループが演じるプログラムは故郷の先人物語劇、民話劇、ミュージカル、人権劇、高校演劇と、バラエティー豊かです。

#### 【プログラム】

(12日)1区『花の井の誉れ』劇団「ほてい葵」、2区『ボク空を飛べるんだ(スクール版)』劇団ミュージカル・キッズ、3区『お庄が淵伝説』ありんこ劇団 (19日)4区『かがやいてーそれは子供たちのコーラスラインー』キッズファンクダンスチーム“BODY PUMP”、5区『とまどいの新居』いちばん星の会、6区『TWO』サンマインド

- 問い合わせ先/多気町教育委員会 Tel.05983-8-1122
- 主催/飯南・多気・松阪地区大会実行委員会、三重県、三重県教育委員会、管内市町村、各市町村教育委員会、みえ県民文化祭実行委員会
- 企画・製作/川は流れる'99企画運営委員会

## ネットワーク のよびかけ

みなさんのまちの  
「子育てサークル」  
「子育て支援サークル」を  
教えてください。



核家族化など、社会の変化に伴い相談相手もなく不安な状態で子育てをしている人が増えつつある今、そんなお母さんたちに「子育てサークル」や「子育て支援サークル」の活動状況をまとめた冊子を作成し、配布することになりました。子育て真っ最中のお母さん方が中心になって活動している「子育てサークル」や子育て中のお母さんの相談相手となって子育てを支援している「子育て支援サークル」など、みなさんの周りで活動しているサークルをぜひ、教えてください。また、これらのサークルが互いに協力、連携してネットワークを形成していけるように「みえ子育てサークルサミット」の開催を平成11年度中に予定しています。

- 教えて欲しいこと/サークルの名称、代表者、連絡先、活動内容
- 締切日/11月30日(火)
- 連絡先/514-8570 津市広明町13  
三重県健康福祉部児童家庭課(平井) Tel.059-224-2295  
Fax.059-224-2270 E-mail jidok@pref.mie.jp  
三重県教育委員会事務局生涯学習課(勢力) Tel.059-224-3169 Fax.059-224-3022 E-mail shogaku@pref.mie.jp

## 「Y2K市民ネット三重」では コンピューター2000年問題の 定期学習会を開いています。

2000年問題に関しては、まだまだ多くの人たちが情報不足のため、その問題の深刻さに気づいていないのが現状です。政府もようやく重い腰を上げ10月末に小淵総理が国民に向け食料の備蓄などを訴えることを決めました。

学習会では、正確な情報をお伝えするとともに、個人レベルでの対

策、近所の人たちに呼びかける方法、行政への働きかけ方などのマニュアル資料も用意して市民ネットへの参加を呼びかけています。また、自分たちの学習会を開催される方のために講師の派遣も行っています。

- とき・ところ/毎週水曜日PM7:00~PM9:00 ねぎ焼き茶屋支店(Tel.0593-39-3838)  
毎週木曜日AM10:00~正午 ねぎ焼き茶屋本店(Tel.0593-53-0201)
- 会費/300円
- 主催・問い合わせ先/Y2K市民ネット三重事務局 Tel.0593-63-4990 Fax.0593-63-4889

## フリーマーケット情報

資源のリサイクルと共に、市民活動団体の活動資金集めの場としてフリーマーケットが欠かせないものになっています。市民グループが主催するフリーマーケット情報を教えてください。

#### 【中勢フリーマーケット協会の予定】

- 11月3日(日)AM10:00~PM4:00(雨天時は11月7日)  
鈴鹿文化会館横  
参加費/会員1000円、非会員1300円
- 11月21日(日)AM10:00~PM4:00(雨天時は11月28日)  
松阪中部台公園  
参加費/会員1300円、非会員1500円(仕入れ品・プロは1000円プラス)
- 申込方法/通信欄に日にちとブース数を明記して、中勢フリーマーケット協会口座 郵便振替 00870-0-121921 まで。
- 申込・問い合わせ先/510-0304 安芸郡河芸町上野1271  
中勢フリーマーケット協会 Tel.090-7027-4334 Fax.059-245-2536

#### 【フリーマーケットinシティーパークの予定】

- とき/毎月第1日曜日(但し、1、2、8月を除く)  
11月7日(日)AM10:00~PM4:00(雨天の場合、翌週)
- ところ/四日市市民公園(四日市市安島1丁目 アムスクエア前)
- 申込・問い合わせ先/三重県フリーマーケット協会事務局  
Tel.0593-55-2939
- 主催/フリーマーケットinシティーパーク実行委員会

#### 【リサイクル運動市民の会三重の予定】

- とき/12月12日(日)AM10:00~PM2:00(雨天・19日)
- ところ/アコレ鈴鹿店屋上駐車場(鈴鹿市北玉垣町R23号沿い)
- 参加費/会員1000円、非会員1500円
- 申込方法/Faxまたは電話にて氏名、電話番号、会員ナンバー(非会員)を連絡。
- 申込・問い合わせ先/リサイクル運動市民の会三重(佐原)  
Tel.&Fax.  
0593-69-0526



# 助成金 ニュース

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人や、その他の法人などの情報を収集し、その活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。そのホームページには多くの助成金情報が集まっていますのでご紹介します。

<http://www.jfc.or.jp/>

## 芸術文化振興基金助成活動

●助成の対象となる団体／芸術家及び、芸術・文化に係わる活動を行う団体とし、以下のいずれかに該当するものとします。

1. 民法(明治29年法律第89号)第34条の規定により設立された法人。
2. 地方公共団体、地方公共団体直営文化施設の長又は設置者(但し、「アマチュア等の文化団体活動」と「伝統工芸技術・文化財保存技術の保存伝承活動」に応募される場合は必要ありません)
3. 法人格を有しないが、以下の要件をすべて満たしている団体。  
ア、定款、寄付行為に類する規約等を有すること。  
イ、団体の意志を決定し、執行する組織が確立されていること。  
ウ、自ら経理し、監査する等会計組織を有すること。  
エ、団体活動の本拠としての事務所を有すること。

●助成の対象となる活動／

### 1、「地域文化施設公演・展示活動」

地域性を活かした特色ある活動、記念的な活動、地域住民が多様な芸術文化に親しむ環境の醸成に資する特別な活動など。主催者などにおいて応分の財政的負担のあるものを対象とします。

### 2、「アマチュア等の文化団体活動」

アマチュア等の文化団体が自ら企画しておこなう、文化活動の発表または公開する活動等が対象になります。

### 3、「歴史的集落・町並み保存活用活動」

伝統的建造物群保存対策調査(文化庁国庫補助事業)及びこれに準じる調査実施地区または調査中の地区に監視、特色あるまちづくりによる地域の文化の振興に資する活動。

### 4、「民俗文化財の保存活用活動」

国又は地方公共団体が指定・登録した民俗文化財及び記録作成等の措置を講ずべきとした無形の民俗文化財を対象とし、民俗文化財を保存・活用した特色あるまちづくりによる地域の文化の振興に資する活動を対象とします。

### 5、「伝統工芸技術・文化財保存技術の保存伝承活動」

- (1) 伝統工芸技術(国指定を除く)の保存・伝承。
- (2) 衰退した伝統工芸技術の復原。
- (3) 伝統工芸技術の公開。
- (4) 文化財保存技術(国指定を除く)の保存・伝承

●助成対象事業の期間／平成12年4月1日～平成13年3月31日

●問い合わせ先／各市町村役場

## トヨタ財団市民活動助成

●受付締切／11月30日(火)必着

●助成の目的／「市民&NPO～新しい公共の創造へ向けて～」を基本テーマに地域や社会全体に関わるさまざまな問題の解決へ向け、積極的な取り組みを行っている市民活動団体やNPO(民間非営利組織)のエンパワーのための助成を行います。

●助成の対象となる活動／市民としての自治の形成に役立ち、地域

や社会の変革につながる波及性の高いプロジェクト(計画や試み)を対象とします。分野およびプロジェクトの形式(調査・研究、会議、集会、交流、印刷・出版、組織基盤の整備など)は特に問いませんが、そのプロセスや成果が地域的・社会的に一定程度のインパクトをもたらす、その後の新たな状況創出につながる提言型の計画を重視します。なお、ここで言う組織基盤の整備とは、おもに事務局人件費や管理費など、組織運営に際して必要な資金的基盤の強化・補充を指します。(具体例)

1. 環境と開発をめぐる新たなあり様を模索・提案しようとする試み。
2. 障害者や高齢者の自立に向けた新たなあり様に取り組もうとする試み。
3. 途上国への支援・協力の体験から、日本社会のあり様を提起しようとする試み。
4. 地域に関わる様々な問題を基調としながら、新たな地域づくりに取り組もうとする試み。
5. 外国人や社会的弱者と呼ばれる人々の支援や擁護に向けた試み。
6. 市民活動全般の支援や推進に向けた実践的・具体的な試み。
7. その他、地域や個人のあり様を草の根の視点から問い直そうとする試み。

●助成対象事業の期間／平成12年4月1日～平成13年3月31日

●助成の額／総額2000万円。プロジェクトに対する助成は1件あたり200万円程度、出版に対する助成は1件あたり100万円程度。

●応募方法／応募用紙は(1)プロジェクト用と(2)出版用の2種類があります。「プロジェクト」、「出版」それぞれ希望の項目を明記し、送料分の切手を同封し、11月22日までに下記へ応募用紙を請求するか、トヨタ財団WEBサイトよりPDFファイルとしてダウンロードしてください。応募用紙はなるべく簡易書留にて送付。

●問い合わせ先／(財)トヨタ財団市民活動助成係 163-0437  
東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル37階 私書箱236号  
Tel.03-3344-1701～1703

ホームページ <http://www.toyotafound.or.jp/>

## (財)国際開発救援財団

### 平成12年度民間海外援助活動助成

●受付期間／平成11年12月1日(水)～平成12年1月31日(月)必着

●助成の目的／民間団体(個人も含む、以下単に団体と言う)による開発途上国における住民の生活向上のための開発援助事業に対し、助成金を交付し、その活動を促進し、もって開発途上国の自立、発展および福祉の増進に寄与すること。

●助成の対象となる団体／開発途上国の住民の生活向上のために援助事業を行おうとする団体で、次の要件を満たすもの。

1. 開発途上国における援助事業を主たる事業目的としていること。
2. 日本国内に住所または事務所を置き、責任の所在が明確であること。
3. 助成対象事業を推進するうえで、十分な管理能力を有すると認められること。

●助成の対象となる活動／1、農漁村開発。2、地域産業振興。3、保健衛生。4、医療。5、生活環境改善。6、環境保全。7、教育・人材育成。8、社会的弱者保護。9、災害復旧。10、上記に係わる調査または広報・啓発。11、その他、開発途上国の住民の福祉向上に寄与する事業

●助成対象事業の期間／平成12年4月1日～平成13年3月31日

●応募方法／資料などは下記まで請求。

●問い合わせ先／(財)国際開発救援財団(担当/粕谷・宮崎)

169-0073 東京都新宿区百人町1-17-8-2階 Tel.03-5386-0541 Fax.03-5386-0542 E-mail fidr@fidr.or.jp

▶▶▶▶▶ **がんばれネットワーク** ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。今月登場するのは紀伊長島町の夏の風物詩、燈籠祭を支える燈籠祭実行委員会副実行委員の樋口泰生さん。紹介して下さった前回の三輪無一さんとは高校時代の同級生だそうです。

**13年ぶりに燈籠祭を復活!**

……紀伊長島町の燈籠祭と言えば今では何万人もの人が集まる有名なお祭ですが、一時は中断していたんですね。

空白期間は13年ありました。復活してから今年で13回目ですから、その分を埋めたというか…。

……復活のきっかけは?

15年前まで紀伊長島町のある地区で保育園主催の花火大会をしていたんですがそれがもう止めるということになって。無いと寂しいからと、その地区の青年団と商工会青年部で花火大会を開催したのが14年前です。昼間からロックコンサートや芸能のタベなどを催して、夜は花火大会。この時に寄付を集めたんですが、100~150万円も集まればいいなと思っていたのが、人数が多かったこと、「あなたが来たなら出そうか」という顔のつながりで1200万円も集まったんですよ。それで翌年もイベントを企画することになって、その時の実行委員長が提案したのが燈籠祭でした。僕もそうですが、みんな子どもの時に見たイメージがあるんですね。それに花火大会では紀伊長島町の特色がないということで。反対もありましたが復活することにしました。

……当初の雰囲気はどんな感じでしたか?

あの頃は一村一品運動の流れでどこもかしこもまちづくりをしていて、紀伊長島町も何かしないといけないと思っていたんです。最初は商工会青年部として開催してましたから、経済の活性化と人的つながりを深めるという趣旨で立ち上げました。当時は僕たちも20歳代後半から30歳くらいと元気が良かったし、仕事だけでは力を持て余してたんです。イベントに飢えていたんですね。組織も今でこそ広報、製作、イベント、ミニ燈籠、財務という風に分かれています。当初はだんご状態。「抜けてるぞ。お前、走れ!」そんな感じでした。

**燈籠祭実行委員会副実行委員長**

聞く

樋口泰生 さんに

……大変大きな燈籠をつくっていますが、その苦勞は?

燈籠を子どもの時に見ていても、そのつくり方は誰も知らなかったんです。そこで昔つくったことがあるという74、5歳の大工さんに指導してもらって試行錯誤しながら35mの長さの龍をつくったのが最初

です。それ以来、虎、鳳凰と毎年増えていきました。復活して4年目にはロックバンド聖飢魔IIのコンサートも行い、大規模な祭になりました。困ったのはその翌年。予算は縮小、でも祭が寂しくなってはいけません。そこでもっと燈籠に特色をつけたいと、本場である青森県のねぶた祭に研修に行きました。ねぶたは神話や史実を題材にするものが多かったのをヒントに民話シリーズを始めました。海上をステージに見立て、音楽をプラス。民話ならシナリオもだいたいできていますからね。

……製作日数は?

だいたい5月の連休明けに決起大会を行い、それから毎晩、手が空いている者は来ます。燈籠だけでなく、すべての準備に60~70日はかかります。燈籠製作の中心は製作室のメンバー。あと、スポット的に手伝いに来てくれる人やグループがあります。

……製作スタッフの技術もすごいんですね。

電気屋さんや大工さんなど専門家もいます。メンバーを集めるのは、必要から始まるんです。例えば電飾をコンピューター制御で点滅させたいと思ったら、それができる人を探します。今の制作の主力メンバーはほとんどそうやって探した人たち。そうすると「あなたがいないと困る!」という意味合いになるし、誘われた方もやりがいがありますよね。

**ノウハウを伝える**

……今年で13回目ということですが、続けてこれた理由はなんでしょうか?

やる気や盛り上がりには波があるし、今年なんかはもう「きつい」というのも正直面倒で(笑)。それでも止めないのは自負というのも変ですが、それこそ僕の仕事があると思っているから。後、達成感でしょうね。昔は打ち上げでビールのかけあいなんかもしましたよ。今は、逃げるけど(笑)。

……樋口さんの仕事とは?

民話シリーズから演出を担当してるんです。でも、誰かに代わって欲しいとも思っています。僕が何年かしたら、次の人がまた何年かして…というふうにつながっていかばいいんですが…。本当は自分が抜けても別の人がやってくれると思うんです。でもそこを抜けないってことは自分も未練があるんでしょう。スタッフに卒業というのがあれば、気持ちよく抜かれるんですけどね。子どもと一緒に堤防でビールでも飲みながら見たいなと思って祭を始めたけど、未だに家族と行ったことがないんですよ。

……メンバーは少ないのですか?

今いる制作のメンバーは「いないと困る!」というタイプで最低限の人数ですね。若い人が基本的に少ないし、そういう子は夜にもなればデートもしたいでしょうし。夏の間、何力月も拘束されると予定をすべてつぶさないでためだから。引き込むために親に夜遅くなることの許可をもらいに行ったり、若い女の子を呼んで、それで釣ろうとしてみたり(笑)。若い後継者が出てきて、僕らに向かって「その感覚は古い

よ」と言ってくれば、「燈籠祭」という名前はあるけれど、中身はその時代の若い人たちがどんどん変えていけばいいと思っています。

……祭に関するノウハウも蓄積されたのでは？

そうですね。事務をしている人が、毎年の記録を書類として残してくれているんです。それを見ればその時の様子がわかるんですよ。やり方も随分変わってきました。例えば駐車場の誘導。最初はすべてスタッフがしていましたけど、今は担当者によってボランティアやプロを頼んだりすることもあります。警察や海上保安庁に提出する申請関係も大切ですね。例えば警察にお願いに行くにしても、交通安全協会の役員をしている人と一緒に行けばスムーズにいきますし。あと、僕らが苦情処理班と呼んでいる分野。苦情を穩便にすますにはある程度の年齢にならないとできないんですね。これからは僕たちがそこを担当する番。若い人たちが突っ走れるような道をつくらないといけません。

若い後継者が出てきて、僕らに向かって「その感覚は古いよ」と言ってくれば、「燈籠祭」という名前はあるけれど、中身はその時代の若い人たちがどんどん変えていけばいいと思っています。

……市民活動にも利用できるノウハウですね。

どうしたらいい効果が得られるのか考えた、メンバー一人ひとりの知恵と努力ですね。それと僕自身が時間ができたらやろうと思っているのは竹の曲げ方やつなげ方など燈籠づくりの基本を書いたハンドブックづくりです。これさえあれば、もし燈籠祭がまた無くなったとしても、いつか復活できるでしょう。

## 別の角度から燈籠祭を見て…

……樋口さんは東紀州体験フェスタでも活躍されたとか？

紀伊長島体験実行委員会の実行委員長をしています。県の事業はもちろんありましたが、この地域でも北は紀伊長島から鶴殿村までの範囲で各市町村単体で体験実行委員会をつくったんです。行政が中心になってる所が多いのですが、紀伊長島町では民間が長をやりました。農協、漁協、自治会など16団体が組織しています。僕は燈籠祭実行委員会から出向という形です。

……どんなイベントを開催したのですか？

紀伊長島町にはハジカミ峠とツツラト峠がありますから、その自治会が中心になって古道関係のイベントを行ったほか、16団体が各自でイベントをやっています。燈籠祭実行委員会では燈籠祭と花火をやりました。既存のイベントに予算を使ってもいいということだったので、燈籠祭に予算をもらいました。その代わりに、私が働きますよと（笑）。私自身も今年の燈籠祭の仕事はこの体験実行委員長として企画を成功させることやと思ってやりました。

……手応えはどうでしたか？

行政の手をわずらわす部分も当然ありましたが、半分くらい運営を民間でやっていますから、胸を張れるかな。

……燈籠祭以外で町の活性化について何か考えていますか？

商工会青年部長をしているなかで考えたのが情報の共有化と、互い



燈籠づくりの様子。竹などで土台をつくった上に布を張っていきます。



巨大燈籠「たかぼつさん」と花火の競演。祭のクライマックスシーンです。

の信頼感がなくてはまちづくりも活性化もできないということです。予算額や現在の方針など、現時点の情報を広く公開する。メンバーが自分と同じレベルの情報を持っていてはいけないと思うんです。オフレコのことも含めて情報を話し、みんなで考えるためには信頼感が不可欠ですね。

## 祭は自己実現の場

……祭の実行委員会も市民活動の一つだと思うのですが、その意識はありましたか？

ありません。やっていて面白いからやっているんです。苦痛を感じても、最後にみんなと同じ気持ちになれる、旨い酒が飲めますから。あと自己実現ですね。したいと思ったことを取り入れていける魅力。燈籠祭では有言実行が無言の掟になっているところがあります。とりあえずアイデアを出してもらって、それを企画がもらおうということもありますが、一番面白いのは自分でプランを立てて、手伝ってもらいながらつくっていくことです。企画を思いついたら予算組みも含めて企画書を出してもらいますし、意見がぶつかったら相手の企画を上回るものを考えます。そうして自分たちの企画を面白くしていく。そういう楽しみ方もしないとだめですね。それとここは人間関係づくりに最適だと思います。祭のシーズンオフも道で顔を合わせれば挨拶をするし、祭の時に荷物を運んでいると、声もかけないのにみんなが手伝いに来てくれる。そんな風になるんです。

……まちづくりのノウハウを持つ人が燈籠祭を通して育っていくんですね。

別の人が言ったんですが、「人の前ではなかなか話せなかった人が、製作室長になってからどうしても話さなくてはいけないという場面が出てきてある程度は話せるように成長した」と。10年くらい経って、僕が燈籠祭から少し離れて考えてみれば、ここが市民活動の研修の場になっているという意味がわかるのかもしれない。燈籠祭がなかったら僕の生活もずいぶん違っただろうと思いますからね。

燈籠祭実行委員会（ふれあい広場マンドロ）

Tel.&Fax.05974-7-5378

樋口泰生さんはこの人を**紹介**します。

竹平和弘（たけひらかずひろ）さん。

この11月に記念すべき第1回を尾鷲市で開く全国民謡サミット。そのスタッフとして企画段階から参加している竹平さん。今年で15回を迎えた全国尾鷲節コンクールの第7回実行委員長でもあります。

## 編集後記

いつになく長い残暑が終わったとたん、涼しい風が吹き渡るようになりました。読書、スポーツ、食欲とたくさん秋がありますが、皆さんの秋はいかがでしょう？今月のイベントニュースなどを参考に秋を満喫してください。また、市民活動ニュースでは今後行われるイベントの情報やご意見、ご要望をお待ちしています。Faxや郵送、E-mailで気軽にお知らせください。